

妙高山を背景に、
実りの季節を迎えた秋の越後平野。
日本人の原風景ともいえる越後路で
瞽女さんの足跡を辿ります。



広瀬浩二郎教授と 高田瞽女ゆかりの地を巡る バスツアー

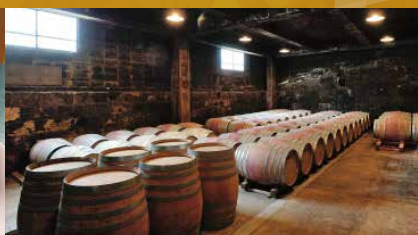
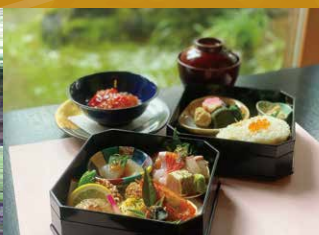
2024年10月26日(土)～27日(日) 1泊2日

参加費 43,000円

(1泊5食付・瞽女唄演奏、解説付き見学、施設入場料含む)

募集人員 45名

締め切り 10月10日(定員に達し次第締め切ります)



主催：ゆう・えん LLC

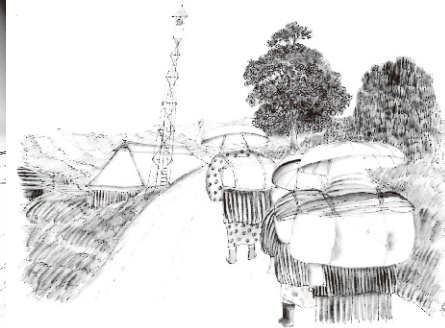
お問い合わせ・お申し込み：ゆう・えん LLC 〒110-0003 東京都台東区根岸 5-19-10-405 代表 斎藤弘美

TEL&FAX：03-5824-5009 Mobile: 080-4182-1956 / 080-1027-5463

E-mail info@yuen-net.com HP URL <http://yuen-net.com>

企画・運営協力：瞽女ミュージアム高田

〒943-0832 新潟県上越市本町 7丁目 3-22 きもの小川 電話：025-522-3400 FAX: 025-522-3143



広瀬浩二郎教授と

高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアー

2024年10月26日(土)~27日(日) 1泊2日

瞽女についてしっかり学べて、しかも美味しい食事付き!!

雁木 雪国の冬期間の通路として、かつては東北から山陰まで広く分布していた。各地でその姿が消えている中、豪雪地、城下町越後高田には今も、総延長約13kmという日本一の雁木通りが残っている。雁木は雪国の生活の知恵、助け合いの心の象徴といわれる。
町家 1614年に家康の6男松平忠輝公が築城した雪国高田の町家は明かり取りに茶の間が吹抜になっていて、天井を貼らずに高窓から採光するのが特徴。雪に閉じ込められる地域ならではの工夫が各所に見られる。
瞽女 盲目の女性芸人。最盛期の明治34年には17軒に89人の瞽女が高田の町中に暮らし、ここから年間300日近い巡業に出て行った。周辺の村々ではいつも決まって訪れる瞽女さんたちを心待ちにしていたという。

行程表

1日目 | 10:30 上越妙高駅西口出発 → 十二ノ木 瞽女宿・池田家 → 昼食(岩の原葡萄園)*1
→ 上田村 瞽女宿・宮崎家跡地 → 瞽女ミュージアム高田*2 → 夕食(長養館)*3
→ アートホテル上越

2日目 | 8:30 ホテル出発 → 板山 瞽女宿・小山家 → 板山不動尊 → 長者島 瞽女宿・岩野家
→ 昼食(坂口謹一郎記念館・楽縫庵)*4 → 東中島 青木家(杉本キクイさんの生家)
→ 米岡のはさ木 → 上越市立歴史博物館*5 → 15:55 上越妙高駅西口解散*6

- *1 岩の原ワイナリーレストラン：日本最古のワイン蔵を持つレストランでワイン付ランチをご用意。
- *2 瞽女ミュージアム高田：ミュージアム見学のほか、隣接する雁木町家2階での記録映像視聴と瞽女唄演奏会も魅力です！
- *3 長養館：城下町高田の迎賓館といわれ、畳廊下の木造数寄屋と日本庭園が魅力の料亭では「唐長」の唐紙が使われている個室へご案内。夕食の後は高田の夜もお楽しみください。
- *4 楽縫庵：「酒博士」とも呼ばれる応用微生物学の世界的権威・坂口謹一郎博士は博士が沖縄の酒屋を回って採取した黒麹菌が1998年に東京大学分子細胞研究所で発見され、60年振りに復活された「幻の泡盛」【御酒(うさき)】も販売しています。
- *5 上越市立歴史博物館：企画展「徳川四天王神原康政の系譜 譜代名門の史料と歴史」を開催中。
- *6 帰りの車中でお楽しみいただけるよう上越自慢のお弁当をお土産に。

食事：26日昼・夜 / 27日朝・昼・お弁当

宿泊：アートホテル上越

〒943-0832 新潟県上越市本町5丁目1-11 電話：025-524-0100

すべてシングルルームの予約となっています。ツインご希望についてはご相談いただければホテルに確認いたしますが、満室の場合はご希望に沿えない可能性もありますのでご了承ください。